

美翔祭「KBFセミナー」

今年も、KBFでは国際理容美容専門学校の美翔祭(11月16日開催)に「KBFセミナー」で参加させていただきました。

今回は「編みこみヘアのコーンロウ」「エアブラシを使ったネイル」のセミナーを開催しました。学生にアンケートを行ない人気のあった技術でした。



編みこみヘアのコーンロウ



エアブラシを使ったネイル

校内コンテスト「匠すと」にて「KBF賞」を表彰



前年度(2009.3.10)の「匠すと」でKBF賞の受賞者と受賞モデルに副賞として「ディズニーランド」ペア入場券を贈呈!



第2回「台湾同窓会」

一昨年の台湾での開催に続き、今回は東京で開催しました。

台湾での一昨年に引き続き、2009年11月15日(日)にラングッドにて行われました台湾留学生の第2回同窓会にKBF代表として参加させていただきました。台湾の経済状況が思わしくなく、出席者が心配されましたが、十余名の卒業生が参加されました。本校からも中村理事、鈴木校長の他、当時の担任



や元担任の先生方まで参加いただきました。同窓生にとって日暮里を訪れるのは卒業以来らしく、学校はもとより、日暮里の変わりように皆一様に驚いておりました。会が始まると同時にタイムスリップしたようで思い出話に花が咲き、とくに根岸の留學生寮の話には大盛り上がりでした。なんせ二十歳前後の彼女達にとっては初めての異国での寮生活です。ホームシックは勿論、体調不良になる者等、てんやわんやだったようです。当時の吉田校長と中村教頭の号令下、お正月や節分などの文化行事も行い、当時の吉川寮母長の苦勞は大変だったようです。留學生は1984年からほ

ぼ10年間続けられました。始まった頃は日本経済に活気があった頃です。確か83年に留学開始記念イベントとして、鈴木政信校長、梁谷元教諭、竹内先生(元後援会副会長)の方が台湾で技術交流のためのヘアショーを行い、当時、私もお手伝いをしました。今思えば、それも何かの縁なのかなと。同窓生は勿論、会場にいた方々全員が「あの頃はいい時代だったね。」とつぶやいていたのが印象的でした。KBF会長 代田道央



21年度文部科学省委託事業を母校が採択されました!!

【正式名称】
平成21年度 文部科学省委託事業
「専修学校教育重点支援プラン」
専門課程の高度化開発
「理容師美容師工ステディジャン
高度専門課程教育プログラムの開発」

今年度、母校では、文部科学省より専修学校教育の高度化研究事業として委託を受け、理容師・美容師・エステティシジャンの「独立開業」に関するキャリアパスを具体的にイメージできるような、体系的な教育プログラムを開発しました。母校のこうした取り組みは、昭和63年から20年間18項目に及ぶ研究開発を手がけ、全国の理容美容学校では唯一の取り組みであり、その研究活動は業界外からの高評価されています。

KBFでは、今年度の研究開発プログラムを活用し、OBGの「独立開業」という夢を実現するために、独立開業講座を開講予定です。講座内容としては、個人で初めて開業することを前提としたリアル感のある教材を使用し、経営的知識、マネジメント力向上を目的とします。ついでに、詳細が決定次第、KBFホームページ等でお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ち致しております。

KBFからのお知らせ	卒業生の皆様へ	KBF発行「アヴェニュー」をご愛顧いただきありがとうございます。誠に勝手ながら次号「アヴェニュー」の発送から卒業後5年間までとさせていただきます。引き続き購読希望の方はKBF事務局までお申し込ただければ、送付させていただきます(有料)。	KBF事務局
	編集長より	次号より今まで無料発送していた「アヴェニュー」ですが、上記の通り卒業後5年後以降は有料配送になりますのでご了承ください。「アヴェニュー」も次号が20号になります。現在、不定期での発刊になっていますが次号も発刊予定です。「会報誌を作って卒業生に読んでほしい」という思いは変わりません、これからも「KBFアヴェニュー」をご愛顧ください。	アヴェニュー編集長: 角金

AVENUE

vol.19

<http://www.kokusai-riyoubiyou.ac.jp/kbf/index.html>



CONTENTS

- 3 ●KBF会長 挨拶
●KBF特別セミナーを開催
●KBF総会・幹事会を開催
- 4 ●美翔祭「KBFセミナー」
●第2回「台湾同窓会」
●21年度文部科学省委託事業を母校が採択されました!!
●KBFからのお知らせ

みんな国際の卒業生です!

主役の中田孝之君は理容科の2年生(美容科通信在籍)で、担任は父親と同級生の中山先生です。国際に入学した経緯から学生生活の今や、卒業後の進路の事。同級生の先生に自分の子供を教えてもらうという事。また、同級生の子供を教育指導する事になった先生。そのあたりもたのしみですな〜! 角金(編集長)が詳しく聞き出します…。

取材場所は、千葉県流山市、中田君の実家のサロンです。お店の営業が終わってからの取材です。数時間前まで営業してたようで、活気あるサロンの空気はいい感じですね。中田君の父親はKBFの活動に参加していた時期もあったので自分も久しぶりの再開です。中山先生は、一時期ですがアヴェニューの編集に携わっていたこともあり、チョッと懐かしい顔ぶれでした。卒業生のサロンの傍らで卒業生の集い、いいですね〜!これがKBFです!

最初は、主役の?中田君にQ!

Q.国祭に入学した理由

t(中田孝之):父親の影響があったと思います。父親が卒業した学校で信頼しているといっていたからです。環境もあったかもしれないけど将来、実家のサロンを継ぎたいと思っていたので自分の意思で決めました。

高校の野球部に入っていた時の先生にも進められました。(理美容専門学校の中では、卒業生を見てきて薦めるよと…)

高校3年の部活を引退した頃に既に国際の美容科の通信課程に入り、卒業したら理容科(昼間)に入学するつもりでしたので高校在学中に通信課程を始めました。理容も美容もどっちも出来るように成りたいのでそうしました。それと、入学して学校行ったら「泉ちゃん(中山先生)によろしくね〜」と父親に言われましたよ!(笑い)

n(中山):入学試験の時に判りました!本人(父親?)だと…(爆笑)

Q.実際に入学してどう

t:最初は、理容は年配の人を対象にしている、美容は若い人が…と思っていたけど、実際に授業を受けてみて最初の先入観を改めさせられました。理容科の授業でメイクやネイルなどと思わなかったし、女子はエステもあるし。自分は男なのでメイクなんてと思ってました。でもやってみたら楽しいです!上達するのも楽しいです。学生生活では、たくさんのいろいろな事を学ぶ事が出来たと思います。一番感じるのは、自分自身が変わったなと実感できるからです。授業や行事などで学んだ事が自信になってるんだと思います。

n:私たちの時代は実家が理容室って家が多かったせいかもしれませんが、理容はこうやって固定観念が強かったかもしれませんが、今の学生は発想も豊かで柔軟に対応出来る感じます。男子でもメイクやネイルにも抵抗感無くこなしています。学校行事も当時と様変わりしていて、オリエンテーションやボランティア実習など実践で活かせる内容になってきていますね。学生を採用するサロンも付加価値を求めている感があります。

m(中田雅之:父):うちも親の代から理容室ですから中山先生と同じ感覚ですね、それもあって自分の子どもには自由な発想や感覚を身に付けてほしいと思いました。

今回のアヴェニューは、卒業生の親子と、父親の同級生の先生の登場です。



写真 左から 中山先生・中田孝之君・中田雅之さん

h(編集長):自分の時のオリエンテーションは「ディスニーランド」だった!ような〜…。…次、行きましょ〜か?…。

Q.卒業まじかになってみて「思っ…」ことってありますか?

t:自分に自信を持って卒業するんだってことです。今までやってきた事が試される時が来るんだなと。就職してサロンで働くのが今から楽しみです!当初は、卒業後に実家のサロンで働くつもりでしたが、今は自分で働いてみたいと思えるサロンを探しています。父親の承諾も得ました。

n:本人から相談があり、幾つかのサロンを紹介しています。今日もサロン見学にいってきました。幾つかの違うタイプのサロンを見て体験してそれで決めれば良いと思います。自分の将来を左右する大切な就職先ですから。同級生の子供だからといって特別扱いは絶対!してません!!(笑い)

m:まず感じた事です、自分の子供を見ていて学校でしっかり教えているな〜と思います。学校に通って変わりましたよ、人見知りでおとなしい感じだったのに自分の思いなどをしっかり発言するようになりましたから。卒業後の就職先なども自分の意思で決めたことだし、クラスの中でも自ら率先して行動しているらしいので。本人も学校生活には満足しているみたいですから。自分達が学んでいた頃(1年制)が基準になってしまおうのですが、2年制になった事もいいのかな〜あ、とも思います。基本的な事をきっちり教われれば良いと思っていたんですが、今の時代にはそれ以上の事が必要なんでしょうね。中山先生から昨今のサロンの現状を教えてもらい必要性を感じました。先生、学校が一丸になって生徒たちを一人前にしようという思いを感じますから。自分たちも現役で仕事をしながら、今の現状を知らない所がたくさんいることを自覚していますから、子供を預けている親にしてみれば有難いことです。

また、何よりも今回、このような機会を与えて頂いた事に感謝しています。自分の子供とあらためてきっちり時間を割いて話をする機会を持つことが出来た事です。それも担任の先生(同級生ですが…)、KBFの先輩を交えてですから、なかなか出来ない

理容科2年
中田孝之
(H21年3月卒業予定)※
プロフィール

千葉県立
流山南高校出身

※取材は2月中旬に行いました



ことです。国際の卒業生でよかったなと思いますし、この職業を誇りにしています。企画・協力して頂いたKBFや学校関係者の方々、本当に有難うございました。

h:今回の企画に協力、有難うございました。KBFの活動には学校も快く承諾してくれます。だって、卒業生が活動しているんですから…。

角金広喜



写真 左から 編集長/角金広喜(29期卒)・担任/中山泉(34期卒) 父親/中田雅之(34期卒)・中田孝之

あとがき…。

t:クラスの皆に観られたら〜、「はすかしい〜な」やっぱり…。
n:KBFで取材があると聞かされて、こういう設定だったんですね、楽しかったです。
m:2年生になり中山先生が担任でおどろきですよ、自分の同級生ですから…。
h:「これでいい〜のだ」これがKBFです!

KBF会長 挨拶

在校生、卒業生、並びに職員の皆様、日々御健勝のことと思います。

早いものでミレニアムから10年がたちました。いま日本は不況、デフレ、少子化による人口減という病に満身創痍の状態です。理美容業界はもとより、エステ業界も厳しい風にさらされています。なんとか受験者数を維持し続けた東京都の美容国家試験受験者数も平成22年からは減少に転じたようです。そんな中、苦戦続きの理容業界でしたが、都内の理容専門学校の受験者が大幅に増えたという明るいニュースが飛び込んできました。理容関係者の努力の成果ではないかと。是非とも業界の起爆剤につながって欲しいものです。

先だって新聞で「辛いもの、苦いものを敬遠する若者が増えているという。すし店では、わざわざ抜きを注文する若者が目立ち、眠気覚まし系のガムも刺激を抑えた商品

が発売されている。子どものころから味覚や嗜好があまり変わらず、「大人の味」が苦手な若者が増えているようだ。」

「若い世代は従来より、味覚が未成熟な状態といえるかもしれない。ゲームやインターネットをしながらの「ながら飲食」の傾向もあり、味への関心が薄らいでいるのではないかと分析している。」という記事がありました。たしかに嗅覚や触覚は無機質なものを好む一方で、聴覚、視覚においてははかかなり刺激的なものを好む傾向があるようです。感じるのは「感性のバランスの悪さ」。原因は、パソコンや携帯電話やipodなどの携帯音楽プレーヤのようです。我々の仕事は五感が命です。関係者の皆様、今一度自分の周りを見直し、改めて見てはいかがでしょうか?それが業界の活性化につながるかもしれません。

代田道央



KBF 特別セミナーを開催

今年度も、学生対象のKBF特別セミナーを6月と9月に開催しました。

PART1

●テーマ●
「メイクとエステの融合」講師:戸田 聡
〜エステINFA国際ライセンスゴールドマスターが教えるリンパマッサージ実技セミナー〜

先にお歳は聞いていたのですが、とても年齢には見えませんでした。またギャグのセンスもかなりのハイポイントで受講生一同、楽しく講習していただきました。講習自体も男でINFA国際ライセンスゴールドマスターというだけあって圧巻。モデルを何人が使ってのデモ形式でした。リンパマッサージ施術によって全身全ての部位を見事にリフトアップさせます。施術後を見せるたびに会場からはどよめきが上がっていました。話の端々に感じられる戸田先生の美に対する熱意というか執着には関心させられました。男である我々がずら楽しかったし、受講生には十分満足していただけたものと思っています。

代田道央



PART2

●テーマ●
「盛りヘア」
講師:子屋 千春

理美容業界も最近にかけてかなりの変化がありました。現在の不況の中、サロンでは売れるメニューが主流になり、本来お客様に自分の技術で満足してもらうという所が薄れてきているような気がします。そこでKBFセミナーでは、理美容の原点である「髪結い(盛り師)」で活躍している子屋千春さんを招いて講習を企画しました。昔のいい技術(伝統)を現代風にアレンジし、今人気職業のヘアースタイルから成人式やブライダル・浴衣ヘアまで幅広くスタイルを提案しています。セミナーでは、初めて見る「盛り師」の仕事に関心を持ってくれたようで、質問もたくさんありました。「カワイイ!」という声も沸き上がるなか大盛況のセミナーでした。開催日の9月15日は子屋さんの「盛りヘアまるわかり」の出版日でもありました。

立花正雄



KBF 総会・幹事会を開催

2009年5月19日(火) 国際理容美容専門学校第二校舎にて「KBF総会・幹事会」を開催しました。

今年で3回目になる幹事会は、前年度・前々年度の幹事も参加してもらいました。なかなか全員出席とはいきませんでしたが、年に一度くらいは集まりたいですね。幹事の方々、これからも宜しくお願いします。

